



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社エアークローゼット 上場取引所 東
コード番号 9557 URL <https://corp.air-closet.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 天沼 聡
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長 (氏名) 森本 奈央人 TEL 03-6452-8654
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の業績 (2024年7月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	3,647	20.6	127	-	116	-	116	-
2024年6月期第3四半期	3,023	11.6	△30	-	△42	-	△43	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	14.16	14.08
2024年6月期第3四半期	△5.25	-

(注) 2024年6月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	2,901	638	21.6
2024年6月期	2,710	510	18.6

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 627百万円 2024年6月期 505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年6月期	-	0.00	-	-	-
2025年6月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,935	17.0	80	-	65	-	64	-	7.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：有
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期3Q	8,236,200株	2024年6月期	8,199,400株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	一株	2024年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期3Q	8,202,710株	2024年6月期3Q	8,198,649株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年5月15日（木）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却対応やメンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

2023年10月には当該物流プラットフォームを活用した都度課金型の新しい取り組みである「Disney FASHION CLOSET」を、2024年11月には同様に都度課金型で結婚式やイベントで着用するドレスをレンタルできる「airCloset Dress」をスタートしており、認知拡大に努めています。

また、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く事業も推進しており、レンタルサービスにおける受託が2件、店頭試着等でわずかに汚れや傷が付いた傷物商品等の再商品化業務を2件受託しております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

当第3四半期累計期間においては、賃上げの定着等により個人消費に一定の回復がみられた一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような状況の中、主力であるairClosetサービスにおいては、新規顧客の登録が最も増える春の繁忙期において気温の上昇が例年に比べて遅れたことに加え寒暖差が激しく、新規会員登録が想定を下回ったものの、前期から続く継続率の改善等により、安定した会員数の伸びを実現しております。

ベトナムにおけるシステム開発子会社の稼働開始など、成長加速に向けた投資を行いながらも、収益性の改善を継続しており、営業利益も順調に推移しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,647,436千円（前年同四半期比20.6%増）、EBITDA（営業利益+レンタル用資産償却費+減価償却費+レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）783,777千円（前年同四半期比42.3%増）、営業利益127,265千円（前年同四半期は30,074千円の営業損失）、経常利益116,718千円（前年同四半期は42,715千円の経常損失）、四半期純利益116,225千円（前年同四半期は43,115千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,707,516千円となり、前事業年度末に比べ202,746千円減少しました。これは主に、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少257,383千円によるものであります。固定資産は1,194,457千円となり、前事業年度末に比べ394,232千円増加しました。これは主に、レンタル用資産の増加193,829千円および建物の増加153,329千円によるものであります。

この結果、総資産は2,901,974千円となり、前事業年度末に比べ191,486千円増加しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,676,520千円となり、前事業年度末に比べ462,973千円増加しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が400,000千円増加したことによります。固定負債は586,781千円となり、前事業年度末に比べ400,000千円減少しました。これは、長期借入金が400,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,263,301千円となり、前事業年度末に比べ62,973千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は638,672千円となり、前事業年度末に比べ128,512千円増加しました。これは主に、四半期純利益計上による利益剰余金の増加116,225千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.6%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、前回予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2025年5月15日）に公表いたしました「2025年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,526	1,197,142
売掛金	365,462	341,276
商品	17,785	29,615
貯蔵品	13,046	15,237
前払費用	39,255	73,614
その他	25,162	55,744
貸倒引当金	△4,975	△5,114
流動資産合計	1,910,263	1,707,516
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	542,030	735,860
建物（純額）	—	153,329
機械装置（純額）	57,651	90,838
工具、器具及び備品（純額）	8,185	10,765
その他（純額）	4,344	—
有形固定資産合計	612,212	990,794
無形固定資産		
ソフトウェア	766	335
無形固定資産合計	766	335
投資その他の資産		
敷金	157,245	143,794
関係会社株式	—	28,533
その他	30,000	31,000
投資その他の資産合計	187,245	203,328
固定資産合計	800,224	1,194,457
資産合計	2,710,487	2,901,974

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,367	236,417
短期借入金	※ 417,322	※ 383,750
1年内返済予定の長期借入金	200,000	600,000
未払金	148,216	181,929
未払費用	22,486	6,638
未払法人税等	530	397
前受金	190,433	232,171
預り金	31,894	20,701
契約負債	20,111	14,476
その他	46,183	37
流動負債合計	1,213,546	1,676,520
固定負債		
長期借入金	960,000	560,000
資産除去債務	20,704	20,704
その他	6,076	6,076
固定負債合計	986,781	586,781
負債合計	2,200,327	2,263,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,251	53,140
資本剰余金	862,232	865,121
利益剰余金	△407,387	△291,161
株主資本合計	505,096	627,099
新株予約権	5,063	11,573
純資産合計	510,159	638,672
負債純資産合計	2,710,487	2,901,974

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,023,216	3,647,436
売上原価	1,604,134	1,880,534
売上総利益	1,419,082	1,766,901
販売費及び一般管理費	1,449,157	1,639,636
営業利益又は営業損失(△)	△30,074	127,265
営業外収益		
受取利息	14	638
雑収入	1,837	2,502
営業外収益合計	1,851	3,141
営業外費用		
支払利息	14,492	13,687
営業外費用合計	14,492	13,687
経常利益又は経常損失(△)	△42,715	116,718
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△42,715	116,718
法人税等	399	493
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43,115	116,225

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の変更)

当社が保有するレンタル用資産は、従来、耐用年数を18ヵ月として減価償却を行ってきましたが、レンタル用資産の利用期間実績が伸長していることを踏まえ、当第1四半期会計期間より、耐用年数を24ヵ月に見直し、将来にわたり変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ97,145千円増加しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

※ 当座貸越契約及び貸出コミットメント契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行（前事業年度は2行）と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	350,000千円	450,000千円
借入実行残高	150,000	250,000
差引額	200,000	200,000

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	418,726千円	391,570千円

（重要な後発事象）**コミットメントライン契約の締結**

当社は、2025年4月14日開催の取締役会において、コミットメントライン契約の締結について決議いたしました。

1. コミットメントライン設定の目的

今後の事業展開を見据え、柔軟な資金調達手段を確保することを目的としております。

2. コミットメントライン契約の概要

（1）契約締結先	株式会社商工組合中央金庫
（2）融資枠設定金額	200,000千円
（3）契約締結日	2025年4月28日
（4）契約期間	1年
（5）利率	短期プライムレート
（6）担保等の有無	無